

AGF®グループ プラスチック削減に関する 取り組み事例のご紹介

2022年11月
味の素AGF株式会社

AGF®グループの環境取組とSDGsの繋がり

AGFグループのマテリアリティ項目	AGFグループの取組事例（代表的なもの）	貢献するSDGsのゴール
気候変動への対応 	● CO₂排出低減活動 ・ コーヒー/茶の抽出カスの燃料及びその他の有効利用 ・ 工場でのコージェネレーションの活用等省エネ活動 ・ コーヒー豆のバルク輸送と荷揚げ港変更による物流効率化 ・ エコレール・エコシップによるモーダルシフト ・ 営業車のエコカー導入とエコドライブ推進 ・ 事業所のLED化等省エネ活動 ・ 本社及び営業拠点のグリーン電力証書購入による再エネ活用 ● 廃棄物の100%リサイクル化 ● 賞味期限延長、年月表示等による物流効率化とフードロス削減	  
森林整備・水資源の保全 	● 「ブレンディ®の森」森づくり活動 ● 工場での節水、浄化排水	   
プラスチックごみの削減取組事例 資源循環型社会実現への貢献 	● ガイドラインを決めた環境配慮包装包材設計 ● 容器包装の3R（リデュース/リユース/リサイクル）推進による省資源、省プラスチック化 ・ 地域コミュニティの省資源取り組みへの参画 ・ 段ボールのSRP（シェルフレディパッケージ）化 ・ 包装の短ピッチ化、薄肉化 ・ プラスチック包装の紙化、リサイクルプラ化、バイオプラ化 ・ エシカル消費の普及促進 ・ ほっとするエコマーク等環境マークの訴求	  
持続可能な原材料調達 	● 4C認証豆の購買 ● FSC認証紙の購買 ● 徳之島での国内コーヒー豆育成支援 ● 高付価値肥料をコーヒー栽培に活用した生産者支援	   
ココロとカラダの健康 	● ドリンクバー設置等による自然災害被災地支援 ● 長期滞留商品を活用したフードバンクへの寄付 ● 器の絆プロジェクトによる東北被災地支援	  

AGF®グループ 包材3Rの取り組み事例

■ インスタントコーヒー袋コンパクト化（2020年～）

2020年、インスタントコーヒー袋全商品において、容器包装の軽薄短小（省資源）により、環境面で大きく改善を図りました。



包材使用量
年間
約**15.6トン**
削減

温室効果ガス
年間
約**133トン**
削減

プラスチック
廃棄量
年間
約**13.0トン**
削減

■ 人手不足対応・環境配慮型段ボール採用

AGFグループでは、商品だけでなく商品を運ぶ段ボールにも、人にやさしく環境に配慮した設計をしています。人手不足対応・環境配慮型段ボール「SRP（シェルフ・レディ・パッケージ）」は、これまで段ボールを開けやすくするために使用されていた内側のプラスチックテープを使用しないため、年間約3.4tのプラスチック使用量削減に貢献しています。



■ SRP（シェルフ・レディ・パッケージ）

- ① プラスチック使用量削減
- ② 人件費削減
- ③ 時短（開封時間が16秒⇒6秒）
- ④ 人手不足解消
- ⑤ 安全（カッター不要）
- ⑥ ユニバーサルデザイン（誰でも直感的に開封方法がわかる）

■ SRP導入商品

- 「ブレンディ®」インスタントコーヒー袋
- 「マキシム®」インスタントコーヒー袋
- 「ちょっと贅沢な珈琲店®」インスタントコーヒー袋
- 「ブレンディ®」ドリップパック
- 「ちょっと贅沢な珈琲店®」ドリップパック（BDPタイプ）

AGF
Blendy
THE LITRE
ザリットル



POINT 02

一部紙を使用した コンパクトなスティック

だから、ゴミ捨てラクラク、
プラスチックも削減。



「ブレンディ®」ザリットルのご紹介

[A G F®ラウンジ「ブレンディ®」ザリットル ブランドサイト \(agf.jp\)](http://agf.jp)

Blendy
1ℓの水にさっと溶ける
THE LITRE
ザリットル

この1本ではじめよう
地球にいいこと。

プラスチック削減

CO₂削減

compact

CO₂

運びやすいから
CO₂削減

Blendy THE LITRE

兵庫県内で取組み

■「ブレンディ®」ザリットル（パウダードリンク）を活用した「プラスチックごみ削減」の取組み

兵庫県内のスーパー、生協、ドラッグストアを中心にペットボトル代替飲料としてのパウダードリンクの普及、マイボトルの利用促進・啓発活動により、生活者のエシカル消費、行動変容を促し、使い捨てプラスチックごみ削減、海洋プラスチックごみ削減の推進に取り組んでいきます。

兵庫県内での22年度取組実績としては、A薬品様20店での店頭展開やB生協様共同購入の掲載（宅配利用者約571千人）、Cスーパー様の兵庫県内店舗27店で店頭展開を予定しており、兵庫県内に店舗展開をされる流通企業様との取組を通じて生活者とのタッチポイントを拡大していくことにより、エシカル消費、行動変容の浸透、定着を図っていきます。

【A薬品様20店舗展開】



【B生協様共同購入掲載】



【Cスーパー様27店舗展開】

